

『注射・採血ができる[Web 動画付]』

Web 動画を参考に、 基本動作を極め看護技術の 取得に役立つ良書

監修：虎の門病院看護教育部／著：福家幸子，山岡麗，千崎陽子
定価：本体 2,100 円＋税／発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



看護技術は、基本動作を明確にし、基本動作を精神運動領域、認知領域、情意領域で分析し、教育内容を抽出することが重要であると考えます。

田島は、基本動作とは「看護技術を習得するために部分練習することが望まれる動作のまとまりとなるような看護技術の構成要素」¹⁾と規定している。基本動作は、多様に活用できる 1 つひとつの技術であり、これを極めていくことが看護技術の取得には欠かせない。そのためには、手順で教える技術教育をやめ、何がその技術の中核の内容になるのか、内容の分析・精選を行い、看護技術をシンプルに教えることが最も重要である。

本書は、基本動作が明確で、その動作の根拠がわかりやすく述べられている。「禁忌」「注意」「根拠」「必修」「コツ」「観察」「資料」が読者にとって目を引くよう記載され、巻末の一覧とも対応しており、初学者にとって活用しやすいようにまとめられている。さらに、Web 動画は一連の流れと繰り返し練習して身につけてほしい技術の構成になっており、基本動作を確認しながら繰り返しの練習に動画を活用できる。

以前に看護学生に筋肉内注射の看護技術の基本動作の難易度を調査したところ、「部位の選定」「不潔にしない薬液の吸い上げ方」「注射器の持ち方と固定の仕方」「注射器の刺入角度や深さ」「空気を取り除き方」「指示された薬液量の吸い方」が挙げられ

た。それらの 1 つひとつの基本動作についても、写真や絵と簡潔な文章でポイントを押さえて説明されている点も興味深い。

現在私は、東京都看護教員養成研修の「看護学教育方法」の授業で基礎看護技術の講義と校内実習指導案作成を担当している。また、研修生の教育実習も受け入れており、教育実習生が基礎看護技術として「注射」の授業を担当する機会が多い。研修生は現場で活躍中の看護師であるが、日頃当たり前前に実施している看護技術を初学者にいか「基本をシンプルに教え、原理をしっかりと教えるか」という点で苦慮している。特に「注射」の技術では、ともすると「安全」を強調しすぎる余りに学生は身体侵襲をとまなう「注射・採血」の技術への不安を強く抱くことが多い。本来、原理原則をしっかり押さえて技術を実施した結果は、安全に「注射・採血」が実施できるはずである。そのための内容と方法を指導することが教える側には求められている。本書にはその押さえどころとなる具体的内容がまとめられており、新人看護師や学生が活用するのみでなく、看護教育に携わる者にとっても有効に活用ができる本である。

● 引用文献

- 1) 田島桂子：看護教育評価の基礎と実際——看護実践能力の育成に向けて[第2版]，75，医学書院，2009。